

分収造林事業等企画提案書作成マニュアル

令和3年度から作成していただく提案書の内容について、作成期間の短縮を図り、より良い提案書となるように要点を〇〇〇に記載しましたので、ポイントをはずさずに簡潔に記載をして下さい。

様式7

令和 年 月 日

一般社団法人 滋賀県造林公社

理事長 三日月 大造 様

住 所

商号または名称

代 表 者

印

分収造林事業等企画提案書

事業場所

1 基本事項

(1) 本事業の実施に必要な人員と工程

事業内容	数量	必要人員	工程	備考
選木・伐倒	ha	人	日	
造材	m ³	人	日	
集材(山土場まで)	m ³	人	日	
素材積込・積卸	m ³	人	日	
素材管理	m ³	人	日	
作業道開設	m	人	日	
架線架設・撤去	m	人	日	
運搬(土場まで)	m ³	人	日	
保育作業	ha	人	日	プロボーザル2型で保育を含む場合のみ記載
準備・後片付け等	一式	人	日	
延べ		人	日	
実施見込み期間			日	完了予定 年 月 日

※事業内容を細分する場合は、行を増やして事業内容を記載する。

※協力事業者がある場合は、実施体制の人数に含めることができる。その場合には、備考欄にその旨およびその人数を記載すること。

(2) 工程表

○提案概要

・施業区域面積： _____ ha、搬出量： _____ m³、作業道開設延長： _____ m

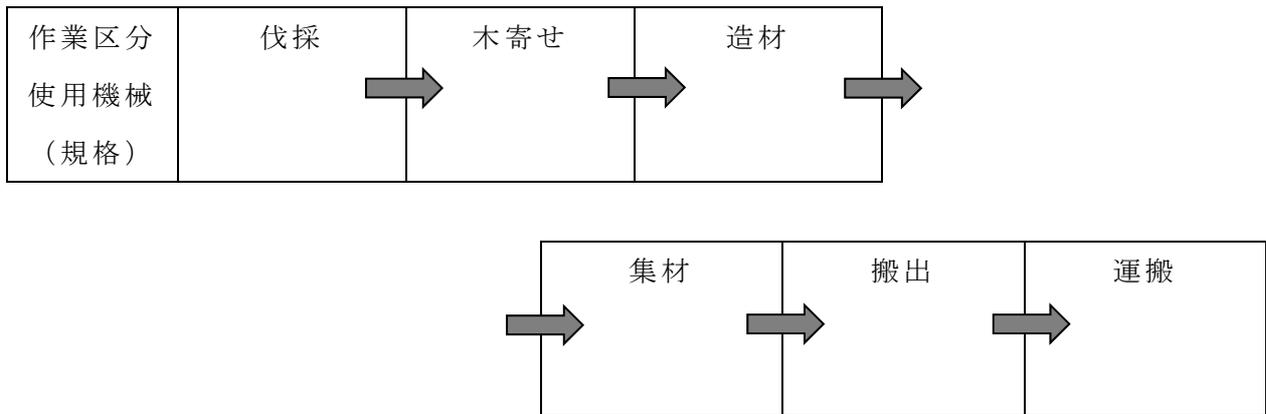
○作業工程表

作業内容	数量	○月	○月	○月	○月
準備工	一式				
後片付け	一式				

2 企画事項

(1) 施業方法

①作業システム



②造材目標 A材、B材、C材の割合と考え方

	搬出材積	全体に占める割合とその考え方
A材	m^3	(全体に占める割合、立木状況からの判断 等)
B材	m^3	(全体に占める割合、立木状況からの判断 等)
C材	m^3	(全体に占める割合、立木状況からの判断 等)
合計	m^3	(搬出材積の根拠資料を作成すること)

現地での調査や公社が提示するプロットのデータ等から、実態に即し、有利な販売が可能となるような造材目標を設定すること。

③山土場と土場の設置

- ・山土場（位置とストック量および使用方法）

位置とストック可能量および使用方法を記載すること。

- ・公社(自社)設定の土場（トレーラー等の進入が可能な土場の確保と利用方法）

トレーラー等の進入が可能な土場の確保ができるか否かと、その利用方法を記載すること。

④ 公社と異なる提案（作業道線形の変更・架線集材等）

（1/5,000 図面に記載すること）

（提案理由等）

提案理由等を記載すること。

⑤ 保育作業（プロポーザル 2 型で保育を含む場合のみ記載）

（数量、工夫等）

プロポーザル 2 型で保育を含む場合のみ、募集要領等で公社が示す保育作業の概要を記載すること。

（2） 林地保全対策

立木(残存木)の保護、土砂流出防止等の林地保全に関する対策について、事業地の状況や提案の作業内容に応じた保全対策について記載すること。

（3） 労働安全対策

一般的な労働安全対策を含め、事業地の状況や提案の作業内容を的確に捉え安全に留意すべき作業を想定して、安全作業を行うための具体策およびその周知徹底の方法を記載すること。

(4) 森林経営計画（プロポーザル2型の場合に記載）

計画種別	林班面積または区域面積	区分	対象森林面積	間伐計画面積	間伐下限値
	ha	公社事業地	ha	ha	ha
		他の民有林	ha	ha	
合計			ha	ha	ha

※計画種別には「林班」または「区域」を記入すること。

※森林経営計画書の様式 6-1 および計画図等を添付すること。

プロポーザル2型の場合のみ、公社から長期施業委託を受けた場合を想定して森林経営計画(案)を作成し、各数値を転記すること。

3 価格事項

(1) 見積内容

事業内容	数量	単位	単価	金額
選木・伐倒費		ha	円	円
造材費		m ³	円	円
集材費（山土場まで）		m ³	円	円
素材積込・積卸費		m ³	円	円
素材管理費		m ³	円	円
作業道開設費		m	円	円
架線架設・撤去費		m	円	円
運搬費（土場まで）		m ³	円	円
直接費計【 <u>ア</u> 】	<u>1</u>	式		円
間接費【 <u>イ</u> 】	1	式		円
計【 <u>ア+イ</u> 】				円
消費税及び地方消費税額	10	%		円
事業費（A）				円

※事業内容を細分する場合は、行を増やして事業内容を記載する。

※保育を含むプロポーザル2型であっても、見積額に保育事業費は含めないこと。

※間接費は、共通仮設費・現場監督費・社会保険料等を計上する。

※見積額は、予算額を上回らないこと。

※運搬費は、土場へのトラック等の運搬にかかる経費を必要に応じて計上する。

(2) 収益性

①木材販売額見込

区 分	内 訳	数 量	単 位	単 価	金 額
木材販売額	A 材（製材等）		m ³	円	円
	B 材（合板等）		m ³	円	円
	C 材（チップ等）		m ³	円	円
計(D)			m ³	X	円

※本事業に木材販売は含まないが、造材等の工夫を行うことにより想定される収入見込みを、公社が示す単価を用いて記入すること。

②補助金額見込

区分	内 訳	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
補助金額	森林環境保全 直接支援事業 【搬出間伐等】		ha	円	円	諸掛率 %
	森林環境保全 直接支援事業 【作業道開設】		m	円	円	諸掛率 %
計(B)					円	

※森林保全課が HP で公表している最新の補助金単価により単価を算定すること。

※森林環境保全直接支援事業は、備考欄に単価算定に用いた諸掛率を記載すること。

③収益見込み

(A)事業費	(B)補助金額	(C)公社負担事業費(A-B)
千円	千円	千円

(D)木材販売額	収益(D-C)
千円	千円

(A)事業費から(B)補助金額を引いて(C)公社負担事業費を算出すること。

4 アピール事項

自社アピール

例 木材の買い取り、C材の取り扱い、事業地周辺民有林との連携 など

複数項目可。自由にアピール事項を記載すること。以下に例を示す。

- ・森林作業道の開設、伐倒、造材、集材、搬出、運搬、仕分け、材積管理等について、自社の技術的強み等を記載
- ・労働生産性の向上や適正な管理の実施等に向けて、自社の優れている点（強み）を伸ばす取組や、自社の課題（弱み）を克服するための取組など、特に伝えたい事項を整理して記載
- ・作業従事者等の雇用条件の改善に向けた努力、木材の買い取りに関する提案、事業地周辺民有林との一体施業による経過道の短縮といった事項を記載